

Bluetoothキーボード BSKBB05 シリーズ 取扱説明書

安全にお使いいただくために必ずお守りください

危険 絶対に行ってはいけないことを記載しています。この表示の注意事項を守らないと、使用者が死にまたは、重症を負う危険が差し迫って生じる可能性が想定される内容を示しています。

- 電池を取り扱うときは、次のことをお守りください。
 - 分解、改造、修理しない。
 - 電池の(+)と(−)を針金等の金属で接続しない。また、金属性のネックレスやヘアピン、カギ等と一緒に持ち運んだり、保管したりしない(接触し、ショートする危険性があります)。
 - 火の中に投入したり、100℃以上の高温の場所や水の中に放置しない。
 - 釘を刺したり、かなづちで叩いたり、踏みつけたりしない。
 - 以上のことを守らないと、液漏れ、発熱、発火、破裂等が起こり、やけどやケガをする恐れがあります。
- 電池は乳幼児の手が届くところに置かなくてください。電池を誤って飲み込むと、窒息や中毒を起こす危険があります。特に小さなお子様のいるご家庭では、手の届かないところで保管、使用するなど、ご注意ください。万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師の治療を受けてください。

警告 絶対に行ってはいけないことを記載しています。この表示の指示を守らないと、使用者が死にまたは重症を負う可能性が想定される内容を示しています。

- 電池を取り扱うときは、次のことをお守りください。
 - 電極の(+)と(−)を間違えて挿入しない。
 - 消耗した電池を入れたままにしない。使用済みの電池は、地方自治体の条例に従って正しく処分する。
 - 長期間使用しないときは、電池を取り外し、常温の乾燥した場所に保管する。
- 電池を使用、交換するときは、指定の電池を使用してください。指定以外の電池を使用すると、液漏れ、発熱、発火、破裂等が起こり、やけどやケガをする恐れがあります。
- 電池内部の液が漏れたときは、液に触れない。やけどの恐れがあります。もし、液が皮膚や衣服についたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。液が目に入ったときは、失明のおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けてください。

注意 この表示の注意事項を守らないと、使用者がけがをしたり、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

- 本製品を次の場所に設置しないでください。感電、火災の原因になったり、製品に悪影響を与える場合があります。強い磁界、静電気、震動が発生すると、平らでないと、直射日光が当たると、火気の周辺または熱気のもえるところ、漏電、漏水の危険があるところ、油煙、湯気、湿気やホコリの多いところ。
- 本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。
- 本製品の分解や改造や修理を自分でしないでください。
- 本製品を廃棄するときは地方自治体の条例に従ってください。
- 異常を感じた場合は、即座に使用を中止し、弊社サポートセンターまたはお買い上げの販売店にご相談ください。

本製品ご使用時の注意

- ボタンが常に押されている状態が長く続くと、電池の消耗が早くなりますのでご注意ください。
- カバンや袋などに入れて持ち歩くときは電源を[OFF]にしてください。
- 航空機内での無線機器の使用は計器に影響を及ぼす可能性があるため禁止されています。機内での本製品の使用は避け、機内に持ちこたときは電池を取り外してください。
- 本製品の右上部に電池残量LEDランプがあります。電池が消耗するとLEDランプが点滅しますので、電池を交換してください。

電波に関する注意

- 本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、工事設計認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また、本製品は、日本国内でのみ使用できます。
- 次の場所では、本製品を使用しないでください。電子レンジ付近の磁場、静電気、電波障害が発生すると、2.4GHz付近の電波を使用しているもの近く(環境により電波が届かない場合があります。)
- 本製品は、工事設計認証を受けていますので、以下の事項をおこなうと法律で罰せられることがあります。
 - 本製品を分解・改造すると
 - 本製品の裏面に貼ってある認証ラベルをはがすと
- 本製品の無線チャンネルは、以下の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。
 - 産業・科学・医療用機器
 - 工場・製造ライン等で使用されている移動体識別用の無線局
 - 構内無線局(免許を要する無線局)
 - 特定小電力無線局(免許を要しない無線局)

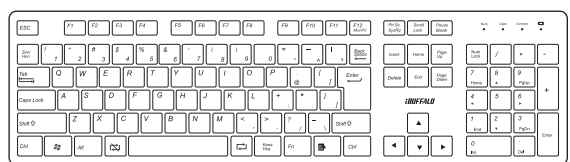
- 本製品を使用する場合は、上記の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。

- 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合は、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または電波の発射を停止して電波干渉を避けてください。
- その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社サポートセンターへお問い合わせください。

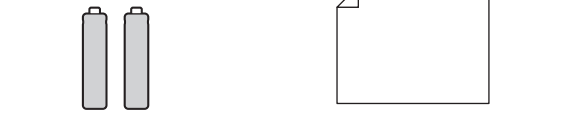
使用周波数帯域	2.4GHz
変調方式	GFSK方式
想定干渉距離	10m以下
周波数変更の可否	全帯域を使用し、かつ「構内無線局」/「特定小電力無線局」帯域を回避不可

付属品がすべて揃っていることを確認します

- キーボード(本体) 1台



- アルカリ単3乾電池 2本
- ※動作確認用

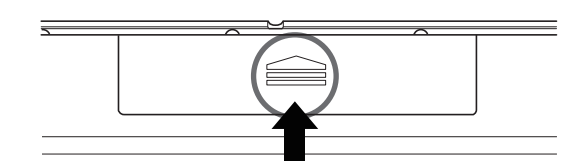


注意 本製品に、Bluetoothアダプター(dongル)は付属していません。パソコンに標準搭載のBluetooth機能または弊社製BluetoothアダプターBSHSBD03シリーズをお買い求めの上、ご利用ください。

メモ 付属の電池は動作確認のため、出荷時期により電池が消耗している場合がございます。お手目にお客様で新品の電池を用意し、付属の電池と交換してください。

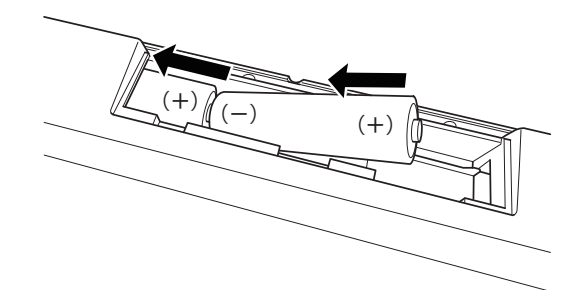
本製品の使用準備

- 本製品裏面の電池カバーを取り外します。○で囲んだ箇所を矢印の方向に押します。



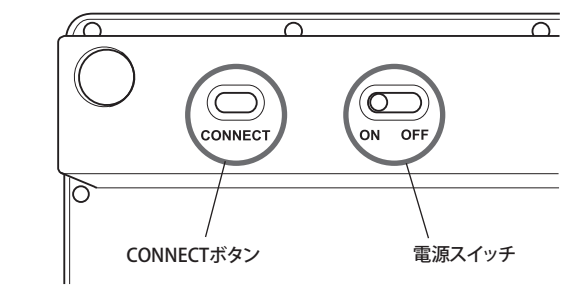
注意 電池カバーを取り外す際は爪を傷つたり、ケガをしないようにご注意ください。

- 単3乾電池を2本入れます。※+とーを絶対に間違えないでください。



- 電池カバーを取り付けます。

- 本製品裏面の電源スイッチを[ON]にします。※CONNECTボタンについては以下の「ペアリング(接続の確認)」で使用方法を説明しています。



メモ 本製品を長時間使用しない場合や、カバンなどに入れて持ち歩くときは電源スイッチを[OFF]にすることで、電池が長持ちします。

ペアリング(接続の確認)Windowsの場合

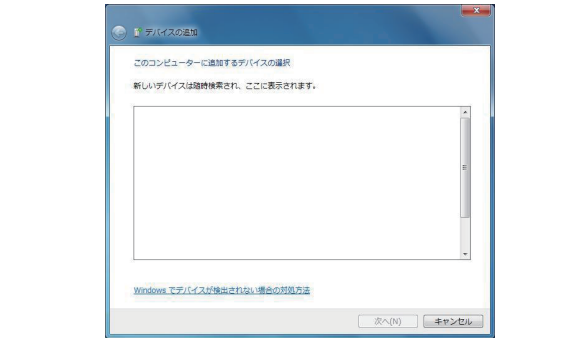
- 本製品を初めてお使いになるときはペアリング(接続の確認)を行わなければなりません。ペアリングは二つの機器間での固有の接続です。一度ペアリングをしたら、同一の機器間では再びペアリング(接続の確認)をする必要はありません。
- 下記手順はWindows7標準搭載のBluetoothソフトウェアでの設定方法を記載しています。他のメーカーのソフトウェアを使用されている場合はそちらの手順を参照してください。また、Bluetoothソフトウェアがインストールされていない場合は別途Bluetoothアダプター(dongル)等をご購入していただき、その製品に付属しているマニュアルに従いインストールしてください。
- ペアリング(接続の確認)が失敗した場合は「デバイスの追加画面」に表示されているアイコンを削除し、再度手順1からやり直してください。
- ※表示画面はOSによって異なりますが、手順は同様です。

- タスクトレイにあるBluetoothアイコン(Bluetooth)を右クリックし、メニューより「デバイスの追加」をクリックします。※Bluetoothアイコンが通知領域にある場合もあります。



メモ Bluetoothアイコンが表示されていない場合は次の手順を行ってください。[スタート]ボタンをクリックし、[コントロールパネル]→[ハードウェアとサウンド]→[Bluetoothデバイスの追加]の順にクリックします。表示されたBluetoothデバイス画面で「追加」をクリックします。

- 「デバイスの追加」画面が表示されたら、本製品裏面の「CONNECTボタン」を押します。「CONNECTランプが点滅します」



- 本製品が検出されると「デバイスの追加画面」に[BSKBB05]が追加されます。本製品のアイコンを選択し、[次へ]をクリックします。



- 以下の画面が表示されたら、本製品を使用し画面に表示されたコードを入力します。※入力後、[Enter]キーを押してください。



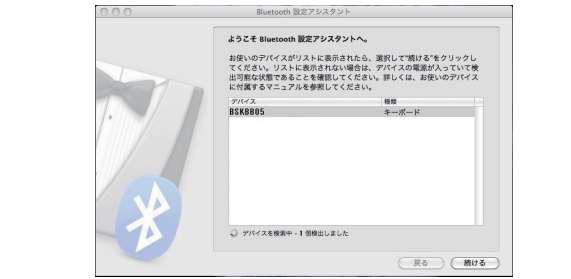
- しばらくすると以下の画面が表示され、ドライバの登録作業が自動で行われます。正常にドライバーがインストールされると本製品のCONNECTランプが消灯しますので、[閉じる]をクリックしてください。



ペアリング(接続の確認)Macintoshの場合

- 本製品を初めてお使いになるときはペアリング(接続の確認)を行わなければなりません。ペアリングは二つの機器間での固有の接続です。一度ペアリングをしたら、同一の機器間では再びペアリング(接続の確認)をする必要はありません。
- 下記手順はMacintosh標準搭載のBluetoothソフトウェアでの設定方法を記載しています。他のメーカーのソフトウェアを使用されている場合はそちらの手順を参照してください。また、Bluetoothソフトウェアがインストールされていない場合は別途Bluetoothアダプター(dongル)等をご購入していただき、その製品に付属しているマニュアルに従いインストールしてください。
- ペアリング(接続の確認)が失敗した場合は「Bluetooth画面」に表示されているアイコンを削除し、再度手順1からやり直してください。
- ※表示画面はOSによって異なりますが、手順は同様です。

- [Bluetoothメニュー]から「Bluetoothデバイスを設定」をクリックします。[Bluetooth設定アシスタント]が表示されます。
- [Bluetooth設定アシスタント]が表示されましたら、本製品裏面の「CONNECTボタン」を押します。「CONNECTランプが点滅します」
- 本製品が検出されると「Bluetooth設定アシスタント」画面に本製品の型番が追加されます。本製品の型番を選択し「続ける」をクリックします。

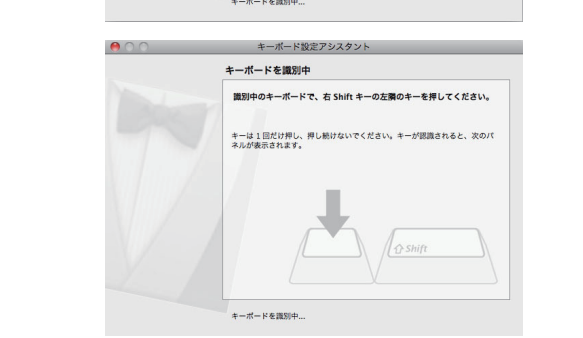
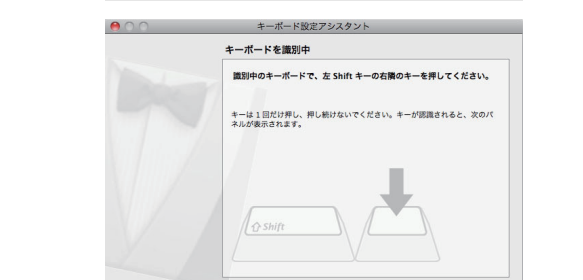
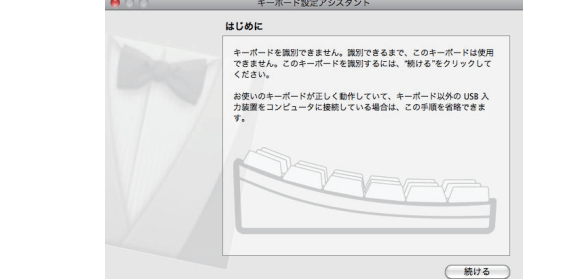


- 以下の画面が表示され「パスワードの入力を求められたら、本製品を使用し画面に表示されたパスワードを入力します。※入力後、[return]キーを押してください。

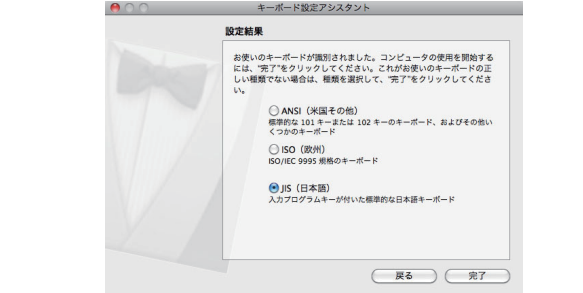


裏面に続く▶

- 以下の画面が表示されましたら、本製品を使用して表示されたキーを入力します。



- 以下の画面が表示されましたら、JIS(日本語)を選択して、[完了]をクリックします。



- 以下の画面が表示されましたら、[終了]をクリックします。ペアリングが完了するとBluetooth画面に本製品が追加されます。



- 本製品の[Fn]キーと[F12]キーを押してMacintoshモードに切り替えます。

以上で本製品が使用可能になります。

- ※ Apple製品で本製品をご使用になる場合には、本体起動時などで上記の操作が必要です。

スリープモードについて

本製品を最後に操作してから約10秒で(スタンバイモード)になり、約60分で「スリープモード」になります。復帰させるには[スペース]キーを押してください。

再接続について

本製品の電源を[OFF]にする等、リンクが切れたときの再接続の方法です。この方法は本製品とペアリング済みの機器のみ可能です。

- 本製品と使用する機器の電源を[ON]にします。
- 約10秒〜30秒で再接続が完了します。※使用状況により秒数は変わります。
- 復帰させるには、[スペース]キーを押してください。

以上で再接続の完了です。

PlayPtion3でお使いになるには

PS3メニュー画面→[設定]→[周辺機器設定]から[Bluetooth機器管理]を選択し、画面の指示に従って本製品の接続を行ってください。尚、登録(ペアリング)の際は本製品のCONNECTボタンを押してください。本製品が正常に動作すれば接続完了です。

メモ 一部のキーは対応しておりません。

本製品のご使用について

- 対応OSWindows 7(32bit/64bit)/Vista(32bit/64bit)/XP(Media Center Edition 2004/2005を含む)、MacOS X 10.5以降、iPhone4/iPad(iOS4.0以降)
- 本製品でWindowsまたは、iPad /iPhone4、Macなどをご使用になる場合、対応する[キー]は以下の通りです。

本製品	Windows	iPad/iPhone4	Mac(ANSI)	Mac(CIS)
「Del」	Del	Back Space	Back Space	Del
「半角/全角」	半角/全角 切替	-	-	-
「[Shift]+[半角/全角]」	入力なし	-	-	-
「[Shift]+[F2]」	-	@	@	*
「[Shift]+[F6]」	&	^	^	&
「[Shift]+[F7]」	-	&	&	^
「[Shift]+[F8]」	(*	*	(
「[Shift]+[F9]」)	(()
「[Shift]+[F0]」	入力なし))	0
「[Shift]+[F+]」	=	-	-	=
「[A]」	A	=	=	A
「[Shift]+[A]」	-	+	+	-
「[¥]」	¥	入力なし	入力なし	¥
「[Shift]+[¥]」		入力なし	入力なし	
「[@]」	@	[[@
「[Shift]+[@]」	-	{	{	-
「[!]」	[]」]	[
「[Shift]+[!]」	{	}	}	{
「[:]」	:	^	^	:
「[Shift]+[:]」	+	-	-	+
「[Shift]+[:]」	*	*	*	*
「[~]」	-	入力なし	入力なし	~
「[Shift]+[~]」	_	入力なし	入力なし	_
「[Windows]」	Windows	Command	Command	Command
「[Alt]」	Alt	Option	Option	Option
「[無変換]」	無変換	入力なし	英数	入力なし
「[変換]」	変換	入力なし	かな	入力なし

注1 Windows日本語版の入力時に「[~]」が「¥」に変換されることがあります。
注2 Macでは「Num Lock」は機能しません。

お問い合わせ

お問い合わせについては、以下の順にてご確認いただきますようお願いいたします。

マニュアル(印刷物、添付 CD 等)をご確認ください。

弊社ホームページにて**最新 FAQ 情報、最新のドライバーダウンロード**をご確認ください。

ホームページ
<http://buffalo-kokuyo.jp/support/>

上記で改善しない場合は、**サポートセンター**へお問い合わせください。

Web でのお問い合わせ先
<http://buffalo-kokuyo.jp/support/toiawase/>

FAX でのお問い合わせ先
050 - 5805 - 9384

電話でのお問い合わせ先
※電話番号はお掛け間違いのないようにご注意ください。
050 - 3163 - 3177 月～土(日・祭日、年末年始除く)
9:30 ～ 12:00 / 13:00 ～ 18:00
※050 から始まる IP 電話を利用しています。

修理品の発送先(A)
<送付先>
〒470-1121 愛知県豊明市西(川)島原1-1
バッファローコクヨサプライ 修理センター宛

保証書

この製品は厳密な検査に合格してお届けしたものです。お客様の正常なご使用状態で万一故障した場合は、この保証書に記載された期間・条件のもとにおいて修理します。
※この保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

お客様	お名前	
	ご住所	
保証期間		ご購入日より6ヶ月間有効
ご購入日 (販売店様記入欄)	年 月 日	

※購入日が証明できるものを添付してください。

株式会社 バッファローコクヨサプライ
本社 〒460-8315 名古屋市中区大須三丁目30番20号 赤門通ビル

・製品の仕様、デザイン、および本書の内容については、改良のため予告なしに変更される場合があります。現に購入された製品とは一部異なることがあります。
・図1から図10は、株式会社パナソニックエレクトロニクス社の商標です。本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。本書では「M、M、M」などのマークは記載していません。

株式会社 バッファローコクヨサプライ
BSKBB05シリーズ 取扱説明書

初版発行 2011/6/27

KM00-0245-00